

甲州人 先人たちの偉業を訪ねて
リベラリスト

石橋 湛山

集合時間 9:00 集合場所 東洋経済新報社前
※東京駅日本橋口から徒歩5分



時間	種別	見学地
9:10-10:00	講演	『ジャーナリストとしての石橋湛山』
10:30-11:00	見学	立正大学内 石橋湛山記念講堂・学園史ギャラリー
11:00-12:00	講演	『政治家・教育者としての石橋湛山』
12:30-13:20	昼食	『国会弁当』をお楽しみください
13:20-14:30	見学	国会議事堂
15:00-16:10	見学	東京国立近代美術館
16:20頃	解散	JR四ツ谷駅
16:30-	懇親会 (オプション)	神楽坂ルバイヤート (定員25名程度 参加費別途¥5,000)

開催日 6月3日(火)

募集人員 40名

参加費用 8,000円

懇親会参加者は、+5,000円で振り込みをお願いします。

QRコードからお申し込みください(メール又はFAXでのお申し込みも可能です)



FAX

山梨県人会連合会 事務局

メール

お支払い

お申込み後10日以内にお振込みください

山梨県人会連合会 ※手数料は各自ご負担ください

※定員になり次第募集締め切りとさせていただきます。

※1週間前からキャンセル料が発生します。当日のキャンセルは費用を返却できません。ご了承ください。

※最少催行人数30名 参加者が30名未満の場合は中止となりますのでご了承ください。

※先着順で受付とさせていただきます募集人数を超えた方は抽選とさせていただきますので予めご了承ください。

お申し込み

氏名	フリガナ	年齢
住所	〒	性別
メールアドレス	※メールアドレスがない方はFAX番号をご記入ください	
所属会	携帯番号	
同行者をご記入ください	同行者の方も別途お申し込みが必要です。必要事項を記入してお申し込みをお願いします。	
懇親会の参加について	<input type="checkbox"/> 参加希望 <input type="checkbox"/> 参加しない	



石橋 湛山

甲府一高にある石碑
(Boys, be ambitious)

東京生まれ、幼少期を父の出身地である山梨で過ごした。実父は日蓮宗総本山 身延山 久遠寺第81世法主 杉田日布 政治家、ジャーナリスト。第55代 内閣総理大臣。(1956年～)甲府 中学(甲府一高)・早稲田大学を経て、東洋経済新報社に入社。のちに社長も務めた。



碑版には、クラーク博士の教え子である大島正健校長の顔のレリーフが刻まれている。(揮毫は石橋湛山)

講演

●『東洋経済新報社と石橋湛山』

ジャーナリストとしての石橋湛山

石橋湛山は東洋経済新報社でジャーナリストとして活躍、日本の経済、政治に大きな影響を与えた。のちに社長も務め、政界での思想の基盤にはジャーナリスト時代の経験が深くかかわっている。



講演者

東洋経済新報社
元代表取締役社長
駒橋 憲一 氏

1980年東洋経済新報社入社
2007年取締役第二編集局長
2012年常務取締役データ事業局長
2016年専務取締役
2017年代表取締役社長
2022年取締役会長歴任後
現在 石橋湛山記念財団評議員

●『立正大学と石橋湛山』 政治家・教育者としての石橋湛山

石橋湛山は1952年第16代立正大学学長学長へ就任、16年間務めた。内閣総理大臣に就任時も学長であった。

講演者

立正大学法学部長
早川 誠教授



見学

国会議事堂

正面向かって右が参議院、左が衆議院。ここを舞台に政治家として石橋湛山も活躍した。



迎賓館赤坂離宮中止

東京国立近代美術館に変更



『立正大学建学の精神』の柱
一、真実を求め至誠を捧げよう
一、正義を尊び邪悪を除こう
一、平和を願い人類に尽くそう



専門は現代政治理論で、『民主主義における議会の役割』を主な研究テーマとしている。

講演では、立正大学学長時代の石橋湛山の政治活動や教育活動についてお話しただく。